

平成 27 年度 第 1 回安城市環境審議会分科会議事録要旨

日 時	平成 27 年 5 月 25 日(月)午後 1 時 30～3 時 30 分	
場 所	安城市役所西会館 2 階第 3 8 会議室	
出席者	委 員	飯尾委員、鳥居委員、神谷委員
	事務局	環境部長、環境首都推進課長、環境首都推進課課長補佐、環境首都推進課環境保全係長、環境首都推進課職員
次 第	1 副市長あいさつ 2 議題 (1) 趣旨説明(資料 1) (2) 課題・問題点整理(資料 2・3・4・5) 3 今年度のスケジュールについて(資料 6) 4 その他 環境フォーラム 2015 (6月13日(土)午後1時15分～)	

1 副市長あいさつ

2 議題

(1) 趣旨説明(資料 1)

事務局より説明

(2) 課題・問題点整理(資料 2・3・4・5)

事務局より現状と課題について説明。

<事前意見に関する意見>

【鳥居委員】

HEMS の補助金はどれくらいか。

事務局：平成 27 年度から実施したもので、設置費の 5%、1 万円を上限とする。

【鳥居委員】

手元にあるメーカーのパンフレットを見ると、設置費込で約 20 万円になるが、その 5%というのはどういう根拠か。エアコンの温度の上げ下げだけで、結構使用量が変わる。設置に対してどれだけという具体的な根拠が無い。1 万円が多いのか少ないのか、家の規模等に応じた具体的な費用がわかると良い。

事務局：太陽光発電には手厚い補助があったが、3.11 以降エネルギーの自前調達が重視されてきた。トヨタホームでは標準装備になっている。メーカーへ工事費との合算で見積もりを取って、決定した。HEMS 単体では 20 万円、蓄電池は別途 200 万円なので、既築に導入するのは難しいが進めたい。

【神谷委員】

補助金があると影響は大きいと思うが、低炭素を目指す高度技術化になるという

のは違う気がする。建物は高気密化で、自然の流れを生かさなない建物になる。どちらに向かうのか。企業は快適を目指す、自然の風や光を活かすことも必要。

【飯尾委員】

この会議の位置づけは。

事務局：議論を始める前のプレストとしたい。

【飯尾委員】

環境基本計画は、報告書ではない。方向性を作る必要があるのではないかと。意見は各論であり、基本計画の次の話ではないかと。

事務局：どういう安城市にするのか、自然保全を重視するのか、技術で解決するのか、ご意見を伺いたい。

【飯尾委員】

基本計画策定では、総論から各論への議論の展開はあるが、各論から総論への展開は難しい。私自身どう対応するか困っている。

事務局：統計等からまとめた資料もあり、自然と技術革新のどちらも大切であると考えている。

環境基本計画では、どこまで各論に踏み込めるか。どちらも正しいのが基本計画である。

【飯尾委員】

補助金の使いやすさではなく、普及し易さではないかと。神谷委員の意見ももっともで、市民が迷うことになる。「市民がつくる」であれば、市民の役に立つものになりたい。基本方針が決まってからの分科会ではないかと。技術革新ではなく、暮らし、ライフスタイルを変える等の方針が。総花的な基本計画はやめたい。モビリティでも、市の方針と実施の間を埋めるのは市民なので、市民ができる事を示す必要がある。読んでもらえる基本計画、例えば地域で勉強会をすとか、市民が使うものにする。暮らしに関しては自分のこととして扱うように、基本方針としてわかりやすいものを。方向性だけは絵が浮かぶくらいの、具体性のあるものとする。

事務局：基本的な方針は、①エネルギー対策、②持続可能なまち、③上位計画との整合。分科会は、大方針は低炭素等の3分野から読み取れるデータ、課題を整理し方向性を組み立てるときの情報収集である。

【飯尾委員】

言いつばなしになって良いのか。

事務局：課題を浮き彫りにする前に、データ収集したい。

【飯尾委員】

どっちがよいと言うより、言いつばなしで良いということで、次回はある程度まとめるということで良いか。個々の考えで良いか。

【鳥居委員】

第2回以降のスケジュールがどう進むのか。

事務局：6月に庁内で議論を進め、7月にある程度まとめた骨子案を提示する。

【飯尾委員】

長いこと審議会委員をやっているの、どうまとめるのかを考えて話をしなければと、考えていた。実現の手法はいろいろあるということであれば、両論併記でも良い。地域を巻き込むことを前提にする。次回の方向性は、なるべく早く示してほしい。

事務局：当面の進め方は、意見をもらって7月にまとめるということ。

<統計資料等から説明>

【鳥居委員】

油ヶ淵は、何をしたら良いか。昔は全戸に排水口のフィルターを配って、水質が良くなったことがある。家庭、工場、農業は何をしたら良いか。フィルターを配る等の対策を具体的に示す。様々なキャンペーンより、方向性がまとめれば綺麗になる。

【飯尾委員】

市民は知らないことが多い。環境の現状にしても、対策にしても。関心を持つと、心が変わる。知らない人が知るために、どういうふうに親しんでいくか、アイデアはいくらでもある。SS、CODの件も油ヶ淵とあなたがつながっている、という説明がある。例えば、万博のエクスカッションで、山、川、海のつながりを知るために、カレーライスを食べ、その排水がどうなるか、いうものを行った。上下水道があっても、負荷をかけていることを知ってほしい。

【鳥居委員】

根羽村を知らない人が多い。町内で人を集めて行ったが、非常に良い。水は、根羽村から200年かけて安城市に来ている。市外から来た新入社員は根羽村に行くようにするとか、安城市の水は大切なのだということを伝える必要がある。

事務局：広報で水の特集があり、矢作川、根羽村、油ヶ淵などを扱った。現在、矢作川の水が、安城市の家庭を通過して油ヶ淵に入っている。

【鳥居委員】

どうすればよいか、上流で手を打つことを考える。油ヶ淵の浚渫は毎年行っている

ので、流すものを考える必要がある。以前に比べればずいぶん良くなったが、環境基準を超えているので、何とかしないとイケない。

【神谷委員】

景観でいえば「まちなみ」は、街路樹が良い時期に切られている。剪定が強すぎるので、造園関係の知り合いでは、剪定の仕事はしないとやっている。緑を愛する人ならばやらないのではないかな。

あぜ道も除草剤で茶色になっている。草刈機を使っている人もいるので、環境保全型農業等で何とかできないか。豊田の段々畑では除草剤を使っておらず、きれいな田んぼになっている。安城市民のアンケート調査結果は、景観がいいと言っているが、納得できない。

街路樹の葉を地域の人が集めて堆肥にして、きれいな街路樹を保っているところがある。

生物が復活したかどうかは、生物指標を使ってはどうか。愛知県の鈴木さんのお話では、油ヶ淵の汚れの主要因は生活排水が最も多く、特に合成洗剤が悪いらしい。農薬のせいでニホンミツバチが死んでいるが、減農薬で生き物が増えることがわかる。ランドデザインを描く必要がある。生き物で賑わう田んぼの風景。若い人はそういう姿を知らないのではないかな。

生活環境から自転車優先のまちにしたい。明治用水の緑道のようなものは広げられないかな。

例えば東京の、目白駅の近くには森がある。目白駅を降りたら森にしたいという思いで、地元の設計士が中心となって町をつくった。大通りも、一本裏に入ると歩く人と自転車の人が多い。設計士も東京で森が出来るとは思っていなかったのだから、安城だから出来ないということはない。私も何かあったら、桜井から自転車で駆けつけるつもり。

事務局：市民アンケートでは、田園風景を、単に緑として捉えている印象がある。田んぼだから良いという感覚からは少し離れていると考えられる。

【神谷委員】

田んぼは、洪水の時には遊水地になる。まちには重要。

【鳥居委員】

マンションの売り文句は、「安城は緑が多い」というもので、景観の緑と田んぼの良さは違う。今ある考えでは、多様性のある田んぼを作るというもの。

事務局：理想は榎前の田んぼの姿か。

【神谷委員】

田んぼは、見た目も良いし、風も涼しい。

事務局：竹内委員より、深夜に公園で遊ぶ子供の声の指摘があった。子供の声やポ

イ捨ては、マナーとして生活環境で扱うと良いのでは。

【鳥居委員】

幼稚園の子供の声がうるさいという人もいる。家にいる高齢者にはうるさいかもしれないが、大人が遠慮して我慢するべきではないか。声が漏れるからと周囲に壁をつくったら、子供は楽しく遊べないだろう。花火も、やっていいところがない。ボール遊びは出来るようになったが。

【神谷委員】

野焼きには誤解がある。農家の枯れ草焼きは本来問題ないが、ビニール類もついでに入れてしまうので、良くない状態になっている。私がやっている炭焼きにはビニール類は入れていない。

【鳥居委員】

神社の焚き物も、事前に消防署に届けておく。

【神谷委員】

年末の神社の集まりでは、最初は木だけだが、少しずつビニールが入っていく。炭焼きでは講習で習ったが、一般の人はビニールを燃やしてはいけないことを知らない。宮係の時も、いけないと思いつつ、人には注意できないでいる。

知らない人が多いので、知ることは必要。

外来種といえば、アカミミガメは池のハスを食べてしまう。本證寺は、愛知学泉大学の矢部先生の協力でアカミミガメを駆除して復活した。

冬水田んぼにたくさん稚魚がいたので、すくってみたらカダヤシだった。在来種が駆逐されてしまう。

温暖化で言えば、設楽の町では、標高 600m ぐらいまではゴキブリがいなかったが、最近入ってきた。平地に生えるコナラも、標高 400m あたりに生えるようになってきた。

事務局：安城市でもコメに高温障害が出た事がある。

【鳥居委員】

外来種は駆逐する必要がある。

【神谷委員】

まずは捨てないこと。捨てる前に引き取る体制をつくっては。

【鳥居委員】

引き取り場所を作ると、喜んで持ってくる人がいるのでは。

【神谷委員】

昔はイナゴを捕まえるのが宿題だった。

アユ釣りをしていたらブラックバスが釣れて、それからアユ釣りはしていない。
最近はヘビも見かけない。

事務局：幼稚園でシマヘビが出たからなんとかしてほしいと連絡をもらったことがある。駅前の木にムクドリが集まるので、木を切ってしまったこともある。人により価値観は異なるし、鳥も数が多すぎれば害鳥になる。

【鳥居委員】

自然が多ければ鳥も分散する。殺虫剤も、カラスが死ぬぐらいの殺虫剤もある。作物の実がならないのは虫がいなくなったせいだ。「共生」と簡単に言うが、現実には難しい。

3 今年度のスケジュールについて（資料6）

事務局より説明。

4 その他（資料6）

事務局：環境フォーラム2015（6月13日（土）午後1時15分～）の説明。

（以上）